

令和7年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

愛知県名古屋市

自治体名：愛知県名古屋市

担当課名：教育委員会事務局 生涯学習部 部活動振興課

電話番号：052-291-4675

1.自治体の基本情報

基本情報

面積	326.45 km ²
人口	2,331,264人
公立中学校数	111 校
公立中学校生徒数	50,046人
部活動数 (文化部活動のみ)	778部
地域クラブ数	129団体 (うち2団体は文化と重複)
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定済

地域連携・地域展開における市区町村の現状・課題

本市の中学生の生徒数は、2012年には52,862人でしたが、2022年には50,552人と約4.4%減少しております。また、中学校部活動は、2012年は部活動数は1,050部、生徒の部活動参加率は77.1%でしたが、2022年は部活動数は909部、部活動参加率は67.3%と、部活動数は13.4%の減少、参加率は約10%減少と、本市においても部活動数や部活動参加率減少の一因として、少子化の影響が見られます。そのため、国のガイドラインを踏まえ、今後も子どもに豊かなスポーツ・文化芸術活動を継続して提供していくために、本市においても部活動改革に着手しました。

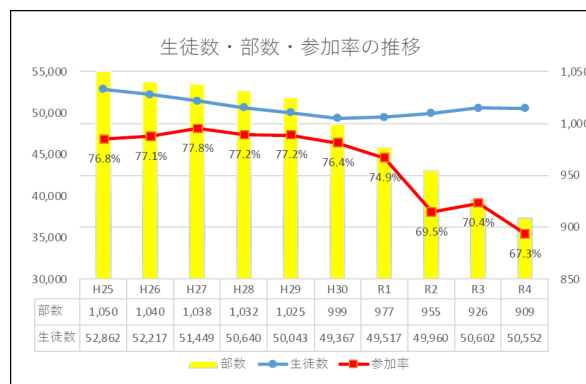
具体的には、令和5年度は、本市の今後の部活動の在り方を検討するために、生徒・保護者へのアンケート調査や合計5回に及ぶ有識者懇談会等を開催し、本市の活動方針を策定しました。方針としては、「令和7年10月から、土・日曜日の部活動を見直し、活動は大会参加等のみとする。これに併せ、中学校施設を開放し、地域の多様な団体・事業者等による地域クラブ活動を実施する。」というものでした。

令和6年度は、活動団体の掘り起こしや、モデル事業を実施し、令和7年度の本格実施に向けて環境整備を行いました。

令和7年度は、10月より土・日曜日の部活動（大会参加等を除く）は実施せず、地域の団体・事業者等による地域クラブ活動を開始しました。

【課題】

広報啓発（参加生徒の募集、運営団体の募集）、及び持続可能な運営について更なる検討が必要である。

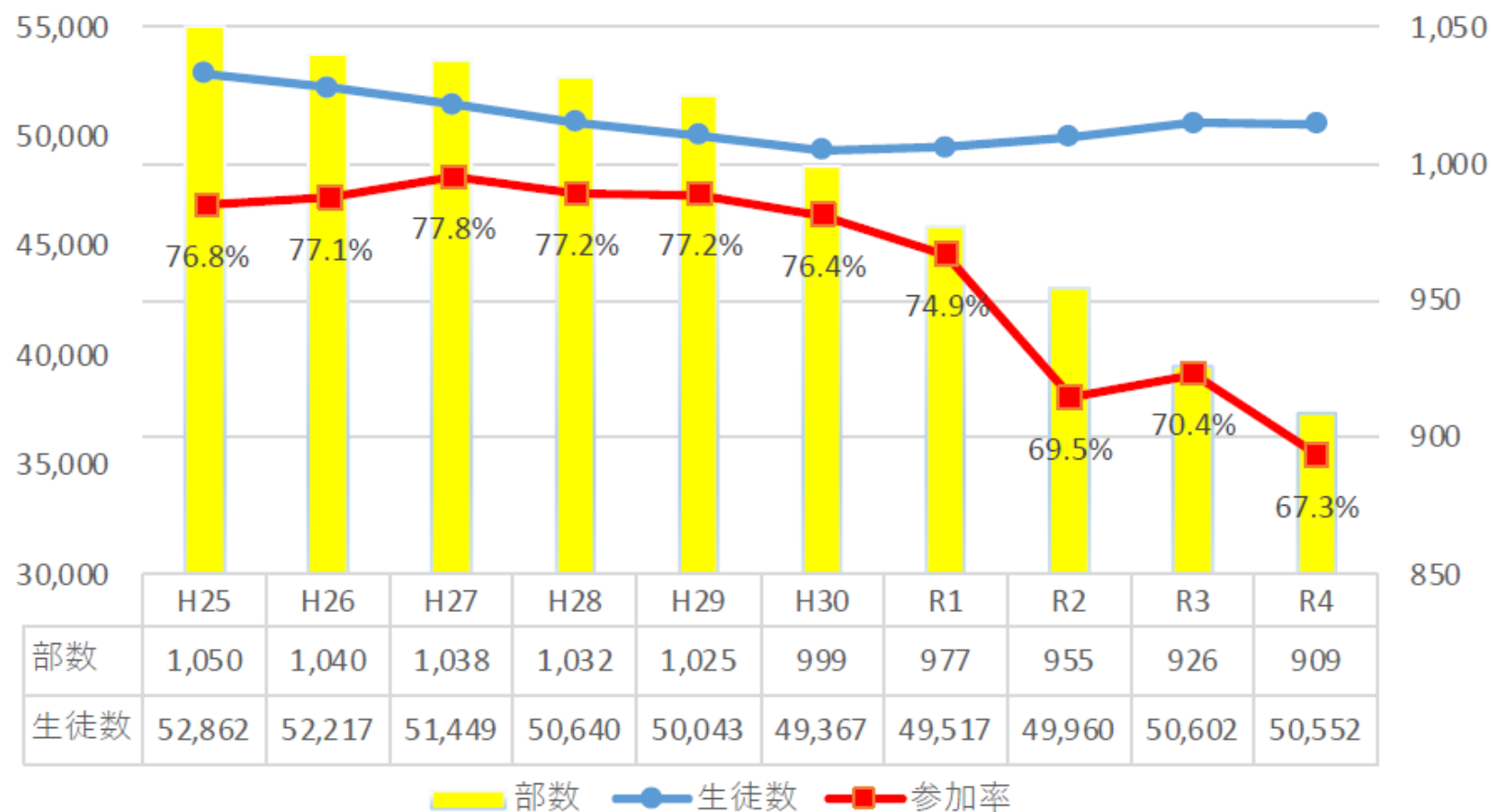


出典：第1回名古屋市立中学校における部活動のあり方懇談会

1.自治体の基本情報

地域連携・地域展開における市区町村の現状・課題

生徒数・部数・参加率の推移



出典：第1回名古屋市立中学校における部活動のあり方懇談会

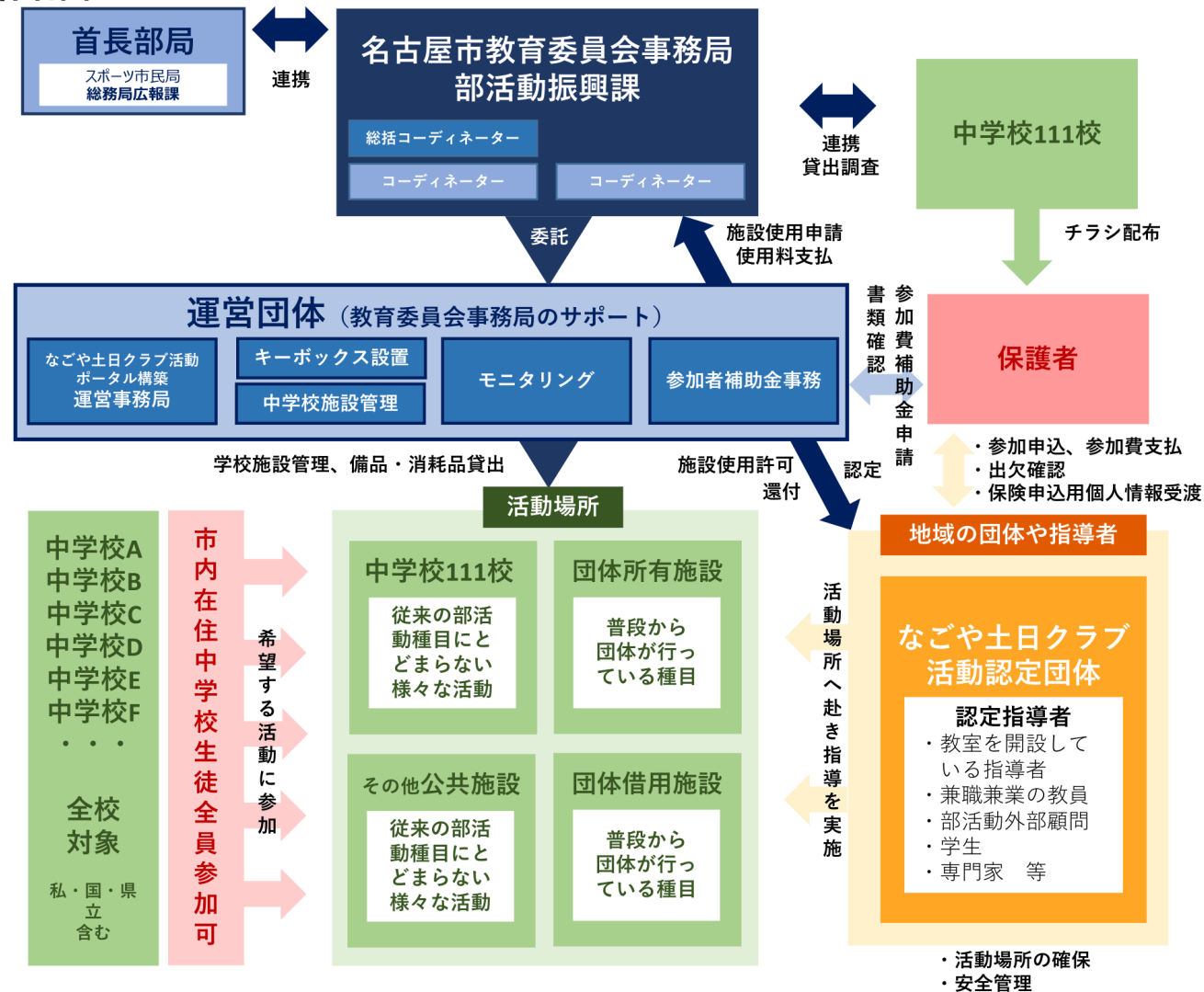
スポーツ庁

令和7年3月 ～6月	規則・要綱等の策定・改正 及び施行
令和7年3月 ～7月	事業者選定 4月以降 業務委託契約 ・専用ウェブサイト構築・運営 ・中学校施設管理 ・キーボックス設置 ・モニタリング ・参加費補助金事務
令和7年4月	学校向け制度案内 団体登録案内 生徒・保護者向け実施案内 教職員向け兼職兼業案内 市公式ウェブサイト等案内掲載
令和7年4月 ～6月	研修動画・確認テスト作成 対面研修検討
令和7年6月	指導者登録にかかる動画研 修・確認テスト開始 登録完了団体へID配布
令和7年7月	専用ウェブサイト開設
令和7年8月	中学校施設申込開始
令和7年9月	参加申込開始
令和7年10月	なごや土日クラブ活動開始
令和8年2月	アンケート調査の実施
令和8年3月	事業完了・報告

2.実証内容と成果

運営体制・役割

●市区町村における推進体制図



2.実証内容と成果

地域クラブ活動の運営実績

①全体に関すること

実施した地域クラブ活動総数		129団体（うち2団体は文化と重複）	
ケース別地域クラブ活動数	A：部活動を地域移行した形の地域クラブ活動数（及び移行された部活動数）	（平日部活動とは切り離して整理）	
	B：部活動にはない種目等、新規の地域クラブ活動数	（平日部活動とは切り離して整理）	
全体の指導者数	783人（文化含む）	全体の運営スタッフ数	事務局3人、委託事務局5人

②各地域クラブ活動に関すること

専用ウェブサイト（なごや土日クラブ活動ポータル）参照
<https://nagoya-spoculportal.jp/>



③その他、体験会やイベント等の開催実績

各団体において、体験会等を実施している場合がある。
 詳しくは、上記②専用ウェブサイト参照

（独自事業）
 専用ウェブサイトを開設
 誰でも簡単に情報を得られる環境を整えた。→



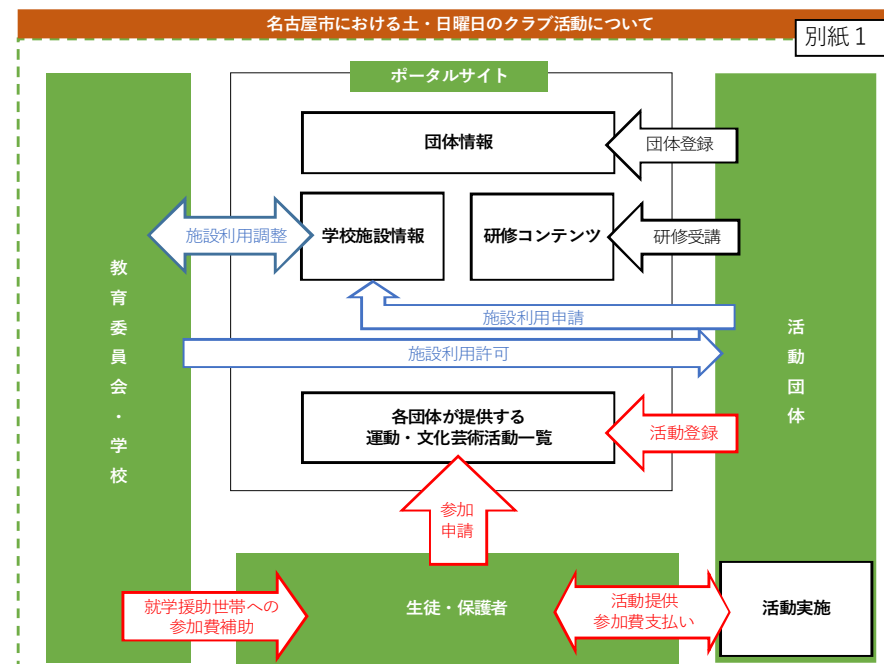
2.実証内容と成果

主な取組例

●なごや土日クラブ活動 概要

地域クラブ活動で実施した種目	バスケットボール、サッカー、バレーボール、軟式野球、ラグビー、ソフトテニス、陸上、ハンドボール、卓球、柔道、チア、新体操、eスポーツ、セパタクロ等
運営団体名	民間事業者
期間と日数	1団体平均3.4回/月 (=2,177回/(4月*159団体)) (文化含む)
指導者の主な属性	会社員(役員含む)、自営業、教員、大学生、講師等
活動場所	市立中学校等
主な移動手段	徒歩、自転車、公共交通機関、自家用車
1人あたりの参加会費等(年額)	4,200円/月(3,000円までが4割)
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年 等

●地域クラブ活動を実施する際の運営体制図



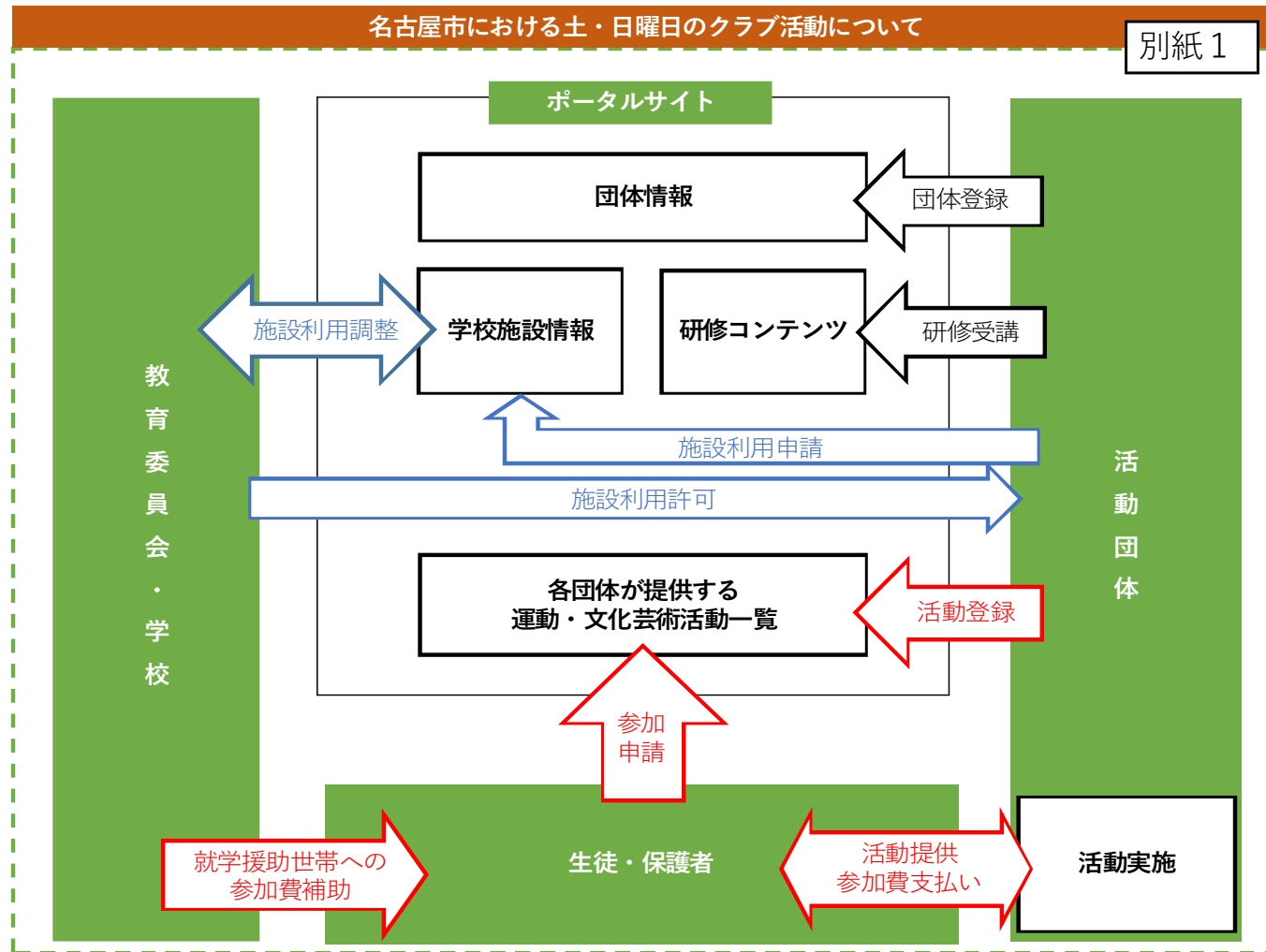
●指導者や運営スタッフ等の役割分担等

- 教育委員会事務局 部活動振興課
役割：部活動改革の主幹、学校及び市内の調整・連携、環境整備全般を行う
- 委託事務局（民間事業者1社）
役割：専用ウェブサイト（なごや土日クラブ活動ポータル）の構築・運営、学校施設貸出補助を行う
- その他委託（民間事業者4社）
役割：学校施設管理（管理人）、モニタリング、参加費補助金事務、キーボックス設置を行う

2.実証内容と成果

主な取組例

●地域クラブ活動を実施する際の運営体制図



2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

取組の成果

●運営体制整備

・規則・要綱等の策定・改正及び施行

名古屋市中学校における土・日曜日のクラブ活動の団体登録要綱

・業務委託事業者選定、契約

- ①（独自事業）専用ウェブサイト構築・運営
- ②（本事業）中学校施設管理
- ③（本事業）キーボックス設置
- ④（本事業）モニタリング
- ⑤（本事業）参加費補助金事務

●実施団体及び指導者確保

令和6年度調査を基に、団体（実施主体）を募った。

- ・登録申請 202団体（うち、文化33団体、両方2団体）
- ・登録団体 159団体（うち、文化30団体、両方2団体）
（R8/1/31現在）

専用ウェブサイト＝「なごや土日クラブ活動ポータル」

なごや土日クラブ活動ポータルとは

市立中学生の生徒が、スポーツ・文化芸術分野の多様な活動に主体的に参加できるように、地域の様々な団体との橋渡しを行うポータルサイトです。



<https://nagoya-spoculportal.jp/>

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組

取組内容

●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

専用ウェブサイト＝「なごや土日クラブ活動ポータル」

ポータルでできること

地域クラブ：「イベント情報掲載」「学校施設予約」「お知らせ配信」「動画研修受講」

生徒・保護者：「地域クラブ検索」「参加申し込み」「お知らせ受信」「活動履歴確認」



施設検索 > 2132_城山中学校

2132_城山中学校
千種区西崎町1丁目42番地
TEL: 0120961925
最寄り駅: 地下鉄(本山)
国政選挙・地方選挙のための投票所設置や運営、突発的な工事等やむを得ない事情により、使用許可を取り消す場合があります。
この場合、使用料の返付は致しませんが、それ以外に発生した費用については一切の負担は致し兼ねますのでご了承ください。
各区の投票所については名古屋市公式ウェブサイトをご確認ください。
<https://www.city.nagoya.jp/shisei/category/54-10-2-0-0-0-0-0-0.html>

武道場 26/4/4(土) 使用想定曜日

※利用日で検索するには先に種別を選択してください

絞り込みをすべてクリア

予約状況

○ 予約可 □ 抽選申込 × 予約済み - 受付外

4/4(土)	武道場(2026年3月まで)	武道場(2026年4月から)
09:00~12:00	対応なし	○
13:30~16:30	対応なし	○

↑
予約
画面→

予約状況

予約場所
武道場(2026年4月から)

利用日時
2026/04/04(土) 9:00~12:00

オプション

※利用する場合はチェックを入れてください

☐ 卓球台(最大6)

☐ 卓球ネット(最大6)

☐ バイブ椅子(最大40)
使用時に隣の体育館から移動

連絡事項 任意

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

取組の成果

●広報啓発 学校、保護者、生徒、団体（実施主体）、教職員、一般市民へ向け、各種制度の案内等を行った。

種別	媒体、配布先等	時期	内容
市広報媒体	広報なごや（全市）	6月号	くらしのガイドで、団体登録申請案内を掲載
	広報なごや（全市）	9月号	市政トピックスで、土日クラブ活動の概要と団体登録申請案内を掲載
	市ウェブサイト	随時	中学校部活動の見直しと参入意欲調査の案内ページ。 「なごや土日クラブ活動ポータル」へのリンク貼付
	市ウェブサイト（教育委員会ページ）	9/16～	「なごや土日クラブ活動ポータル」へのリンク貼付
チラシ	各スポーツ協会等	随時	団体登録申請案内チラシの配布
	全市立中学校及び特別支援学校中学部	11/28	生徒・保護者へ、土日クラブ活動のアカウント登録促進案内
	全市立中学校	9/30	生徒・保護者へ、土日クラブ活動参加費補助金制度の案内
広告	新聞広告（5社）	12/20、21	小学校の新たな運動・文化活動の指導者募集、中学校部活動の外部顧問募集、土日クラブ活動の団体登録申請案内を掲載
教育委員会 媒体	きずなネット	4/15	生徒の保護者へ、土日クラブ活動の概要を周知
	きずなネット	9/10	生徒の保護者へ、「なごや土日クラブ活動ポータル」のアカウント登録方法を周知
フリーペーパー	守山フリモ	4月号	土日クラブ活動の概要と守山区の中学校で実施している活動の紹介

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保

取組事項

●研修の充実

①指導者認定研修（6月以降、随時実施）

- ・大学と覚書を締結、協働して研修動画・確認テストを作成
- ・団体所属指導者全員が、研修動画を視聴、確認テストを満点で合格しないと、団体として活動が開始できない制度とした。
- ・プラットフォーム上に動画を掲載、研修動画視聴ログ等を取得し、受講状況がタイムリーに確認できるようにした。

②AED取扱方法研修（10月実施）

- ・実施に先立ち、名古屋市消防局職員による、救急入門コース（実技研修）を行った。
- ・全員がAEDを扱い、実践できるようにした。

③会計研修（3月実施）

- ・初めての方でも、安心して団体を立ち上げられるようにした。
- ・令和8年度以降を見据え、補助金申請等書類作成業務に必要な事項等を伝えた。

内容 小規模団体の立ち上げ・運営に際し、必要な会計知識全般
生徒保護者からの集金等に関わる業務効率化
収支報告 等

R7年度 指導者認定研修動画

思春期の子どもの心理と指導上の留意点

けがの対応や応急手当

スポーツ指導におけるハラスメントの理解と防止

安全管理（事故防止について）

やる気を引き出す言葉かけ（声かけのスキル）

保護者への対応

いじめ問題に関する保護者との連携、信頼関係構築の在り方

1動画
= 16～30分程度
1動画視聴後、
その動画に関する
確認テストを受検



2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保

指導者認定研修の満足度

区分	肯定的	中立	否定的	AVE
団体代表者	18 件 (40.0%)	16 件 (35.6%)	11 件 (24.4%)	3.27
指導者	58 件 (37.9%)	68 件 (44.4%)	27 件 (17.6%)	3.39

- ・アンケート回答数 団体代表者 45人
指導者 153人
- ・5段階評価

●受講後の感想等

- ・動画配信での研修はとてありがたかったです。
わりと動画の数がたくさんでテストも全問正解でないと次の動画に行けなかったのが時間もかかりもどかしさは感じましたが、自分の勉強にもなりました。
- ・常識と思っていた事が間違っていた事柄があり勉強になりました。
- ・女性特有の身体的なこと等は研修しないと分からないので良いと思います。
- ・重要で有意義な講義だからこそ資料を用意してほしい。

主な研修コース

- ・運動系の応急処置・安全管理
- ・中学生向けのトレーニング方法
- ・訴訟リスク・コンプライアンス関連

今後の予定

令和8年度以降予定 指導者認定研修動画

みんなで月経について考えてみませんか

こどもの発育・発達に合わせた指導法

トレーニングの原理・原則

小中学校の体育授業の内容

指導者の職務と注意義務

いじめのとりえ方と予防（校内研修シリーズ）

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保

取組事項

●手引き・マニュアル等コンテンツの充実

なごや土日クラブ活動ポータルご利用手順書（団体向け）<https://asfeel.notion.site/1f1dceebae1e80818d57fe6f639f6938> を掲載、
各種情報をタイムリーに更新し、団体及び指導者がいつでも最新の情報を得られる環境を整えることで、目線合わせをした。

ご利用開始までの流れ

STEP1：地域クラブ登録申請

STEP2：審査及び研修動画へのアクセス情報付与

STEP3：研修動画視聴およびテストの受験

STEP4：ポータル利用アカウント配布

STEP5：施設予約

予約種別と流れについて

手順1：ログイン

手順2：施設予約

手順3：施設予約状況確認

⚠️ 名古屋市在住の中学生を含まない活動での施設利用はできません。

「中学生を募集したが応募が0名だった」場合は、事前に事務局にお問合せのうえ、施設のキャンセル手続きをお願いいたします。
使用料を納付済みの場合は、還付手続きをさせていただきます。

STEP6：活動情報の登録

手順1：新規募集作成

⚠️ ポータル上で施設を予約した際は、必ずその施設を使用する募集を公開してください。

予約した施設に対応する募集を公開されていない団体様には、事務局および名古屋市教育

👤 次年度指導者認定証・団体登録証の交付要件について（2025年12月22日掲載）

📄 次年度指導者認定証および団体登録証の交付要件について_251222.pdf 457.5 KiB

✅ 土・日曜日のクラブ活動 学校施設使用のご案内（2025年8月1日掲載）

📄 土・日曜日のクラブ活動 学校施設使用のご案内.pdf 236.2 KiB

（名古屋市教育委員会 部活動振興課作成）

🏫 各学校の使用門一覧（2025年12月12日現在）

📄 【なごや土日クラブ】使用門一覧_251212.pdf 86 KiB

※安全確保のため、本情報は一般公開しておりません。
データの取り扱いには何卒ご注意ください。よろしくお願いいたします。

🔍 各学校の貸出備品一覧（2026年3月5日現在）

📄 【なごや土日クラブ】貸出可能備品等一覧（R8.3.5掲載）.pdf 750.6 KiB

※貸出可能備品の変更があった際は随時更新いたします。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保

取組事項

●教員の兼職兼業

教職員課と連携し、教員が心身健康で本務に支障がなければ、兼職兼業を用いてなごや土日クラブ活動の指導者となることができるよう、制度改正を行った。

申請状況

●教員の兼職兼業

申請者32人（令和8年1月31日現在）

内訳 中学校教員 29人

小学校教員 3人

参考

●指導者認定者の属性

指導者認定証交付者 783名（令和8年1月31日現在）

うち、教員（名古屋市） 124人（15.8%）

教員（名古屋市以外） 11人（1.4%）

兼職兼業願 記入例

名古屋市教育局 御中

令和7年7月1日

名古屋市立 名古屋中 学校・園

職名 教諭 氏名 名古屋 太郎

以下の通り兼職兼業をしたいので、許可・承認くださるようお願いいたします。

事業者又は団体名	なごやスポーツクラブ
同上住所又は活動場所	名古屋市中区三の丸3丁目1-1
事業又は活動の内容	土日クラブ活動
期 間	令和7年10月4日～令和8年3月31日
時 間 帯	8時30分～11時30分
1週の日数（回数）	1回 1か月の日数（回数） 3回
1週の活動時間	3時間 1か月の活動時間 (a) 9時間

服 務（〇を付けてください）	〇 週休日 勤務時間外 その他（ ）
報 酬	1回 6,000円×年間15回＝90,000円
他の兼職兼業の有無と、ある場合は1年間の合計額	有 150,000円 ※併用欄に他報酬の内訳を記入
期間が重なる他の兼職兼業の有無と、ある場合は、その内容と重なる期間の1か月の総従事時間	有 執筆活動（〇〇出版社）△△講演会 講師 (b) 5時間
【※土日クラブ活動への従事の方のみ記入】 1年以上の部活動指導の経験やそれに準ずる経験の有無と、ある場合はその指導経験の内容	有 15年間バスケットボールの指導経験あり
備 考	執筆報酬30,000円、講演会報酬30,000円

〇時間試算（確認できる直近4か月の）

直近4か月の間の時間外在校等時間（時間）	5月 6月 7月 8月 平均時間
60 20 20 3	25.8

注：時間外在校等時間が0（なし）の場合は、「0」を入力すること 兼業を行った場合の1か月の合計時間(d)=(a)+(b)+(c) 39.8時間

※ 兼業先での1か月の活動時間(a)と期間が重なる他の兼職兼業の1か月の総従事時間(b)と学校での直近4か月の時間外在校等時間の平均時間(c)の合計時間(d)が4.5時間程度とすることを目安に1か月の活動時間(a)をお考えください。

チェック項目 本人宣言欄

☒ 公益性の高い教育（学術、文化、社会教育、スポーツを含む）に関する事務事業あるいは社会貢献活動です

☒ 本務の遂行と、心身の健康に支障はありません

☒ 信用失墜行為にあたるおそれはありません

署名 名古屋 太郎

<副申> 学校（園）長記入欄

※ プリントアウトしたものに自筆

本校 教諭 名古屋 太郎 は、以上の通り、兼職兼業を願っていますが、心身の健康と本務の遂行に支障がありませんので、許可・承認くださるよう副申します。

名古屋市立 名古屋中 学校（園）長 署名 金城 花子

※活動開始日の1か月前までに、必要書類（兼職兼業を依頼されたことが分かるもの）とともにご提出ください。

※入力したデータは、管理職を通じて出退校ファイルリストに提出してください。

令和7年度 教員の兼職兼業について

〇教員の兼職兼業とは？

地方公務員である本市教員は、地方公務員法第38条、教育公務員特例法第17条の規定に基づき、教育委員会に許可された場合には兼職兼業が可能です。兼職兼業をしたい場合は、まず、教育委員会に申請をし、許可されることが必要になります。

〇兼職兼業はどのような場合に許可されるの？

→兼職兼業は、原則として以下の要件に合う場合に許可されます。

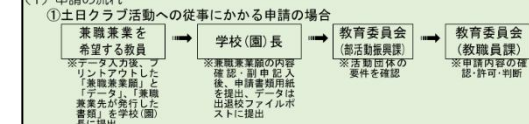
- 〇公益性の高い、教育（学術、文化、社会教育、スポーツを含む）に関する事務事業あるいは社会貢献活動であること
- 〇勤務時間外かつ本務の遂行、健康に支障がないこと
- 〇「直近4か月の時間外在校等時間のうち、単月100時間を超える月がない」、かつ、「兼職兼業先での1か月の活動時間と学校での直近4か月の時間外在校等時間の平均時間との合計時間が80時間（4.5時間を目安にする）を超えていない」こと
- 〇報酬額が社会通念上相当と認められる程度を超えない額であること
- 〇当該教員の勤務校の児童生徒のみを対象とした事務事業でないこと（対象の一部に勤務校の児童生徒が含まれる場合は可）

【中学校部活動の土・日曜日のクラブ活動（以下「土日クラブ活動」）への従事の場合に必要な要件】

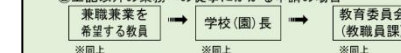
- 〇教育委員会（部活動振興課）に登録申請し、認められた地域クラブまたは地方公共団体が実施する活動における従事であること
- 〇原則、土・日曜日のどちらか1日（大会への参加等により土・日曜日ともに従事する場合には、1か月を通じて4日）は休養日であること

〇申請するにはどのようにすればいいの？

(1) 申請の流れ



② 上記以外の業務への従事にかかる申請の場合



(2) 申請に必要な書類

- ① 「兼職兼業願 Excelデータ」 → 出退校ファイルホストに提出
 - ② 「兼職兼業願」プリントアウトしたもの → 文書交換で提出
 - ③ 「兼職兼業優先が発行した書類」
- （兼職兼業先、業務の内容、期間、活動日、活動時間、報酬額が確認できるもの）
- ※申請書類は、活動開始1か月前までに教育委員会へ提出する必要があります。
- ※申請は、年度ごとに行う必要があります。
- ※兼職兼業の許可を受けた教員について、事務事業に従事する間、時間外在校等時間が許可要件を超える場合や健康に支障が生じると認められる場合には、許可が取り消される場合があります。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保

取組事項

●モニタリング

活動現場を予告なしに巡回し、適切に指導が行われているかをチェック項目に沿って確認するスタッフを配置し、生徒が安心して活動に参加できる環境を整備することを目的に、モニタリング事業を委託して行った。

実施件数

●モニタリング

225件（令和7年10月～令和8年1月の4か月間、文化含む。）

主な報告内容

- ・指導者が1人だった
- ・活動時間が3時間を超えていた
- ・午前・午後両方とも同じ生徒が活動に参加していた
- ・主な参加者が中学生ではなかった
- ・言葉使いが少し荒かった

区分	チェック項目
活動体制	①指導者又は指導補助者は2名以上の体制か
	②活動時間は3時間以内か
	③主な参加者は中学生か
	④なごや土日クラブ活動ポータルに掲載されている内容と同じ活動内容か
指導内容	①練習中適度な休憩をとらせているか
	②生徒への声掛け・言葉遣いは適切か
	③体罰、暴言や生徒を公平に扱わないなど不適切な指導を行っていないか
	④要配慮生徒への接し方は適切か
	⑤不必要に生徒の体に触れていないか
	⑥その他不適切な指導は行っていないか
	⑦写真撮影や動画録画の手順は適切か
	⑧活動分野と種目に応じ、①～⑦で記載出来ない部分を確認する
安全管理	①用具や設備は安全に使用しているか
	②怪我や体調不良の生徒への対応は適切か
	③熱中症対策は適切か
	④大きな事故発生時の救急対応は適切か
	⑤その他安全管理に不備はないか
	⑥参加者への事故防止の注意喚起などがあるか
	⑦活動分野と種目に応じ、①～⑥で記載出来ない部分を確認する
その他	①生徒間でいじめやトラブルがないか
	②保護者同席時、保護者への対応は適切か
	③その他気になる点はないか

➡ 問題のあった報告の大半が本事業の主旨を理解していないためにルールを逸脱したものであった。
それ以外の重大な報告（いじめや暴力、安全ではない等）は、これまでなかった。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 オ：内容の充実

取組事項

●実施種目の充実

バスケットボール、サッカー、バレーボール、バドミントン、軟式野球、ラグビー、ソフトテニス、硬式テニス、陸上競技、ハンドボール、卓球、柔道、水泳、空手道等多様な種目の登録があった。

従来の部活動とは異なる種目（チア、新体操、eスポーツ、セパタクロ、テコンドー、ボクシング、ピラティス、忍者、ウェイトリフティング、ボルダリング、ピクセルボール等）の登録もあった。

●生徒向けチラシへの掲載

区毎に行われている具体的活動を抜粋し、生徒向けチラシに掲載した。

なごや土日クラブ活動をはじめよう! 148団体が登録済み! 2025年10月からスタートしています!

なごや土日クラブ活動とは?
土曜日・日曜日において、部活動とは異なる、地域の様々なスポーツ・文化芸術活動を市内在住の中学生に提供します。
専用ウェブサイト「なごや土日クラブ活動ポータル」で募集!

主な参加対象者
市内在住の中学生
※在学中の中学生は問いません。
※なお、主な参加対象が市内在住の中学生です。

活動日・時間
●活動日は土曜日または日曜日のどちらか1日のみ
●1回の活動は3時間まで
※大人数参加等で土曜日、日曜日両方とも活動に参加する場合は、原則週1回

どのような活動があるの? 千種区・昭和区・名東区・天白区の募集活動例

募集区	募集場所	種目	男女別	団体名
千種区	城山中学校	バスケットボール	男性	千種バスケットボールクラブ
		サッカー	男性	田代C
		吹奏楽	男性	千種吹奏楽クラブ
		陸上競技	男性	城山陸上クラブ
		バレーボール	男性	Nexus
	千種中学校	ダンス	男性	ENJOYNT DANCE SCHOOL
		サッカー	男性	NPO法人A&Cスポーツ
		軟式野球	男性	リーフラス名古屋スポーツ文化コミュニティ(LNSC)
		バスケットボール	女性	Pivots
		バスケットボール	女性	若狭ジュニアバスケットボールクラブ
昭和区	千種中学校	バスケットボール	女性	VICTORYA
		バスケットボール	男性	Y&Gクラブ
		手芸	男性	クラフトハートーカイ(アピタ千代田橋店)
		合気道	男性	名古屋合気道田代道場合気道クラブ
		バスケットボール	男性	リーフラス名古屋スポーツ文化コミュニティ(LNSC)
	川名中学校	バスケットボール	男性	CHUKYO EAGLES ACADEMY フットボールスクール
		サッカー	女性	成成FC
		新体操	女性	リーフラス名古屋スポーツ文化コミュニティ(LNSC)
		サッカー	女性	今地クラブ
		手芸	女性	クラフトハートーカイ(イオン八事店)
名東区	中京大学名古屋キャンパス	アメリカンフットボール	男性	CHUKYO EAGLES ACADEMY フラグフットボールスクール
		ラグビーフットボール	男性	あいちグローバル交流クラブ
		バレーボール	女性	UNIVERSION
		バレーボール	女性	NPO法人AOZORA 名東バレーボール
		バレーボール	男性	Nexus
	篠原中学校	陸上競技	男性	城山陸上クラブ
		ダンス	男性	リーフラス名古屋スポーツ文化コミュニティ(LNSC)
		ラグビー	男性	イーストオールの
		吹奏楽	男性	URBIOPLASTAS-名古屋MarchingSounds-
		軟式野球	男性	クロススポーツクラブ
天白区	つくじ出版	美術・工芸・ゲーム・カードゲーム・ボードゲーム・文芸・絵本制作	男性	合同会社つくじ出版
		軟式野球	男性	プライドジャパン
		バレーボール	男性	NPO法人AOZORA選抜バレーボール
		バスケットボール	女性	休日バスケットボールクラブ(commit)
		ラグビー	男性	サウスオカ
	久方中学校	バスケットボール	男性	鶴田ハンドボールチーム
		バスケットボール	女性	
		バスケットボール	女性	
		バスケットボール	女性	
		バスケットボール	女性	

※募集に際しては活動及び現在募集中の活動の一部を掲載しています。
※他にもさまざまな募集活動があります。詳細は募集のご案内や土日クラブ活動ポータルをご覧ください。

登録から活動参加の流れ

Step1 なごや土日クラブ活動ポータルにアカウント登録
URLまたは二次元コードからアカウント登録ページにアクセス。
9/10に必ずネット上で配信されたご利用手順書の「個別コード」を入力。その他必要事項を入力後、「この内容で登録」をクリックしてアカウント登録。
※入力方法の詳細は、ご利用手順書参照。
※必ずネットに未登録の方は、在学の中学校からご利用手順書の用紙を配布しています。
※失った場合は、在学の中学校に相談してください。

アカウント登録方法
1. 登録ページにアクセス
2. 個別コード入力
3. 利用規約とプライバシーポリシーの承認
4. メールアドレス入力・確認
5. 活動日・時間・性別・学年の選択
6. 参加費負担方法の選択

Step2 参加申し込み
URLまたは二次元コードからなごや土日クラブ活動ポータルにアクセス。「クラブから探す」または「活動から探す」から、参加したい活動を検索。
個別の活動募集ページの下部にある「申し込み」をクリックして、参加申し込みは完了。
※アクセスは こちらから

Step3 活動に参加
活動募集ページに掲載の持ち物等を用意して、当日指定の場所に集合して参加。

費用負担と補助について
●無料体験会を除き、活動参加には一定の費用負担があります。費用や支払方法は活動により異なります。
●名古屋市中立学校に在籍する生徒の保護者として、名古屋市の就学援助の認定を受けている方は、参加費補助を受けられます。(令和8年3月末までに参加した活動の参加費等に対して、補助金額上限12,000円)
※参加費補助金は、ポータルサイトに掲載している募集活動以外では受けられませんので、ご注意ください。(部活動や習い事等は対象外です。)
※各活動の費用・支払方法や参加費補助金の詳細は「なごや土日クラブ活動ポータル」でご確認ください。

※既にアカウント登録済の方や土日クラブ活動に参加している方は、本チラシは参考としてください。

お問合せ先
名古屋市教育局事務局活動振興課 TEL:052-291-4406
e-mail: a3265@kyokyo.city.nagoya.lg.jp

お問合せ
フォームは
こちらから



2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等

取組事項

●参加費等の一部又は全部を減免

就学援助世帯のうち、地域クラブ活動に参加する生徒について、**月2,000円**を上限とした参加費支援を行った（**令和7年度上限12,000円**）。

専用ウェブサイト（なごや土日クラブ活動ポータル）へチラシを含めた案内を掲載し、いつでもデータを確認できる環境を整えた。

●学校施設貸出備品の充実

団体からの要望に応え、貸出備品を充実させた。

例 陸上 走り高跳び用具等の貸出
ラグビー デジタイマーの貸出 等

取組の成果

- 参加費用を全部減免できた生徒もいた。
- 団体にて備品購入をせずに活動できるため、生徒の参加費高騰を抑えることにつながった。

インターネット（LoGoフォーム）申請窓口を開設し、申請のハードルを下げた。

学校を通じ、全生徒へチラシを配布→

令和8年3月6日現在
申請件数 191件
有効申請件数 115件

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 キ：学校施設の活用等

取組事項 取組の成果

●規則・要綱等の策定・改正及び施行

- ・名古屋市学校施設開放に関する規則
- ・名古屋市中学生クラブ活動開放施設運営要綱
- ・名古屋市中学生クラブ活動開放における非常災害時等の休止等に関する要綱
- ・名古屋市中学生クラブ活動開放施設使用許可にかかる事務取扱要領
- ・名古屋市中学生クラブ活動開放施設使用料還付に関する事務取扱要領



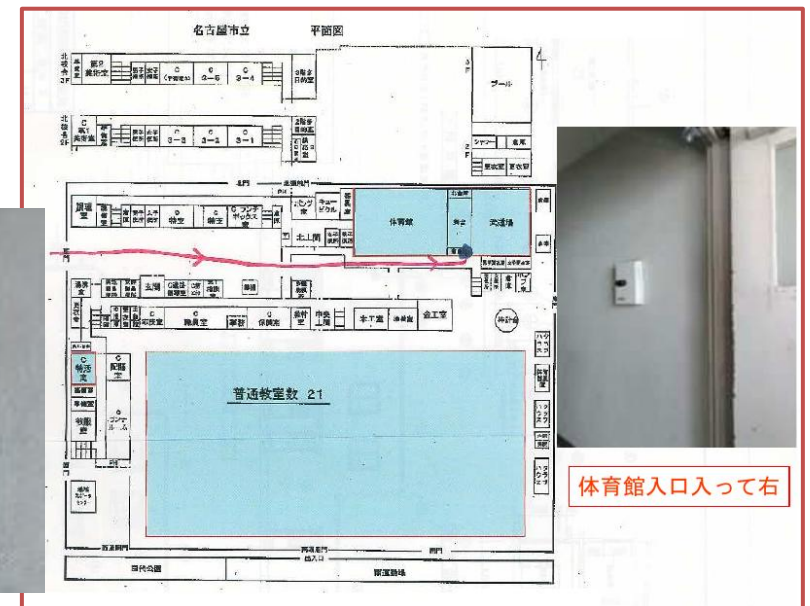
●マニュアルの整備

- ①（団体向け） 土日クラブ活動開放施設利用マニュアル
- ②（従事者向け） 受付手続きマニュアル
- ③（従事者向け） 設備・備品等管理マニュアル
- ④（従事者向け） 事故対応マニュアル
- ⑤（従事者向け） 災害対応マニュアル
- ⑥（従事者向け） 学校施設利用停止マニュアル

学校施設利用上の負担軽減に向けた取組

●【全111校】ダイヤル式壁付キーボックスの設置

- ・キーボックスから管理人が鍵を取り出し、使用施設を開錠施錠
- ・使用門（入口）からキーボックスへの経路地図を整備



スポーツ庁

21

総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

令和7年10月より土・日曜日の部活動（大会参加等を除く）は実施せず、地域の団体・事業者等による地域クラブ活動を全面実施した。

具体的には、①地域クラブ活動に係る一切を一元管理する専用ウェブサイト（なごや土日クラブ活動ポータル）の構築・運営、②地域クラブ活動団体への中学校施設の開放、③団体・指導者への研修、④モニタリング、⑤参加者補助金等、本市における子どものスポーツ・文化芸術活動の環境整備を進めた。

試行錯誤しながらの実施であったが、団体登録申請数は令和8年1月31日現在で202団体（うちスポーツは167、両方は2）、指導者認定者数は783人に上り、本事業を進める土台となる協力が得られる等、一定の成果を出すことができた。生徒の登録数も、毎日少しずつ伸びており、毎週末施設予約が100件程入る等、徐々に本事業が認知されていると感じられる結果になった。

●成果の評価

独自アンケートの結果によると、**活動への満足度**は、市立中学生の肯定的回答（とてもそう思う、そう思う）が85.6%（5段階平均値4.43）、保護者の同回答が82.1%（同平均値4.26）と、高い満足度であることがわかった。特に、安全への配慮（同平均値4.45）及び新しいことへの挑戦機会（同平均値4.31）が好評であった。

なごや土日クラブ活動の**良かった点**は、上位から順に、①希望する活動ができる、②交友関係が広がる、③専門的な指導が受けられる、④友達と一緒に活動ができる、⑤体力向上、**主な懸念点・改善要望**は、①十分な技術指導が受けられるか、②希望する活動ができるか、③練習や指導についていけるのか、④指導者・コーチとの関係性構築、⑤大会でよい成績等を獲得できるか、という結果であった。

また、教員の時間外在校時間大幅減少にも寄与した。

●今後に向けて

今年度の取組結果から、一定数の地域からの協力及び参加者は得られているものの、本市公立中学校生徒数が50,046人であることを鑑みると、次年度以降も**継続的な広報啓発（参加生徒の募集、運営団体の募集）**が必要である。

また、今年度構築したなごや土日クラブ活動ポータルの満足度は、中学生3.96、保護者3.67、代表者3.18、指導者3.20と、いずれも目標値3.0をクリアしているものの、管理機能改善への要望は依然として多く、**継続した改善**を行うことが、本事業発展の鍵となる。

加えて、事務局体制を含めた、**持続可能な運営**について更なる検討が必要である。

2.実証内容と成果②

アンケート結果・参加者/関係者の声

実施事項

- （独自事業）なごや土日クラブ活動ポータル利用者アンケート
 - ・回答期間 令和8年2月16日～令和8年3月1日
 - ・対象 市立中学生、保護者、活動団体（代表者・指導者）
 - ・総回答数 656件
（市立中学生 167件、保護者 291件、
団体代表者 45件、指導者 153件）
 - ・設問数 18～24問（対象により内容変更）
 - ・方法 WEBアンケートフォーム

なごや土日クラブ参加者アンケート

なごや土日クラブ活動へ参加いただき、ありがとうございます。
新しいことに挑戦したり、他校の友だちと出会ったり、
みなさんの週末がもっと楽しくなる活動にしていきたいと思っています。

ぜひ、あなたの声を聞かせてください！

3/1
※切

市立中学生の方
回答はこちら→
(計19題5分程度)



なごや土日クラブ参加者保護者アンケート

なごや土日クラブ活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。
お子さまにご参加いただいた活動について、
今後の運営改善のため、アンケートへのご協力をお願い申し上げます。
より安心してご利用いただける活動となるよう、皆さまのご意見をぜひお寄せください。

3/1
※切

市立中学生保護者の方
回答はこちら→
(計19題5分程度)



設問（一部抜粋）

活動の満足度を教えてください。

活動中、安全に配慮されていたと感じましたか。

新しいことに挑戦できたと感じましたか。

会場施設は利用しやすかったですか。

活動の良かったところを教えてください。（複数選択可）

活動に参加する際に心配なことや、改善点があれば教えてください。（複数選択可）

活動が学区外で行われる場合、参加を希望しますか。

なごや土日クラブ活動ポータルは使いやすいですか。

活動は、お子さまの興味や成長につながると感じましたか。

申し込みから当日までの流れはスムーズでしたか。

中学校施設・貸出備品申込の流れはスムーズでしたか。

管理人のサポートは適切でしたか。

予定していた活動内容を十分に提供できましたか。等

アンケート結果・参加者/関係者の声

取組の成果（一部抜粋）

1. エグゼクティブサマリー

■ KPI 達成状況

KPI 1 プラットフォーム利用者（市立中学生・保護者）の満足度	KPI 2 プラットフォーム利用者（団体代表者・指導者）の満足度
ポータル総合満足度（中学生＋保護者） 3.78 目標値：3.0 回答数：458 件	ポータル総合満足度（団体全体） 3.20 目標値：3.0 回答数：198 件

KPI 1（中学生・保護者のポータル満足度）は目標値 3.0 に対し、中学生単体では 3.96、保護者では 3.67 となりました。活動自体の満足度についても、プログラムの質・安全性に対する評価を以下に示します。

KPI 2（団体ポータル満足度）は代表者 3.18・指導者 3.20 となりました。ポータルの操作性・管理機能への改善要望の詳細は第 4 章に記載しています。

アンケート結果・参加者/関係者の声

取組の成果（一部抜粋）

2. KPI 1 市立中学生・保護者の満足度分析

KPI 1 は市立中学生と保護者を合わせたプラットフォーム利用者の満足度として集計します。

（1）ポータル総合満足度（KPI 対象）

回答者区分	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	平均
市立中学生 (N=167)	63 件 (37.7%)	55 件 (32.9%)	36 件 (21.6%)	6 件 (3.6%)	7 件 (4.2%)	3.96
保護者 (N=291)	75 件 (25.8%)	104 件 (35.7%)	69 件 (23.7%)	27 件 (9.3%)	16 件 (5.5%)	3.67
合計 (N=458)	138 件 (30.1%)	159 件 (34.7%)	105 件 (22.9%)	33 件 (7.2%)	23 件 (5.0%)	3.78

2.実証内容と成果⑤

アンケート結果・参加者/関係者の声

取組の成果（一部抜粋）

（２）活動満足度・体験評価

評価項目	区分	肯定的回答	中立	否定的回答	平均
活動の満足度	中学生	143 件 (85.6%)	18 件 (10.8%)	6 件 (3.6%)	4.43
	保護者	239 件 (82.1%)	33 件 (11.3%)	19 件 (6.5%)	4.26
安全への配慮	中学生	151 件 (90.4%)	13 件 (7.8%)	3 件 (1.8%)	4.45
	保護者	232 件 (79.7%)	50 件 (17.2%)	9 件 (3.1%)	4.07
新しいことへの挑戦	中学生	145 件 (86.8%)	13 件 (7.8%)	9 件 (5.4%)	4.31
申し込み～当日の流れ	保護者のみ	228 件 (78.4%)	37 件 (12.7%)	26 件 (8.9%)	3.96

2.実証内容と成果⑥

アンケート結果・参加者/関係者の声

取組の成果（一部抜粋）

（３）ポータル利用評価

評価項目	区分	肯定的	中立	否定的	平均（５点）
ポータル使いやすさ	中学生	102 件 (61.1%)	47 件 (28.1%)	18 件 (10.8%)	3.71
	保護者	130 件 (44.7%)	87 件 (29.9%)	74 件 (25.4%)	3.17
ポータル継続利用意向	中学生	127 件 (76.0%)	31 件 (18.6%)	9 件 (5.4%)	4.13
	保護者	203 件 (69.8%)	63 件 (21.6%)	25 件 (8.6%)	3.82
ポータル総合満足度 (KPI)	合計	297 件 (64.8%)	105 件 (22.9%)	56 件 (12.2%)	3.78

アンケート結果・参加者/関係者の声

取組の成果（一部抜粋）

（４）来年度参加継続意向

※ 中学３年生は令和８年度に卒業するため集計対象から除外し、１～２年生（N=165）を対象に算出しています。保護者は学年情報との紐づけがないため全体（N=291）で集計しています。

回答	中学生 1～2 年生（N=165）	保護者（N=291）
希望する	131 件 (79.4%)	197 件 (67.7%)
考え中・迷っている	28 件 (17.0%)	42 件 (14.4%)
希望するが、自宅から遠い	—	25 件 (8.6%)
希望するが、参加費が高額	—	9 件 (3.1%)
希望しない	6 件 (3.6%)	18 件 (6.2%)

2.実証内容と成果⑧

アンケート結果・参加者/関係者の声

取組の成果（一部抜粋）

（５）活動の良かった点（中学生＋保護者合算、上位 10 項目）

順位	選択肢	件数	割合（N=458）
1	希望する活動ができる	291 件	63.5%
2	交友関係が広がる	212 件	46.3%
3	専門的な指導が受けられる	208 件	45.4%
4	友達と一緒に活動ができる	205 件	44.8%
5	体力向上	196 件	42.8%
6	チームワーク・協調性の習得	153 件	33.4%
7	学校部活動にない活動ができる	141 件	30.8%
8	気軽に楽しめる	140 件	30.6%
9	挨拶などの礼儀作法の習得	93 件	20.3%
10	精神面が成長する	88 件	19.2%

アンケート結果・参加者/関係者の声

取組の成果（一部抜粋）

（6）主な懸念点・改善要望（中学生＋保護者合算、上位項目）

- ・ 十分な技術指導が受けられるか：105 件（22.9%）
- ・ 希望する活動ができるか：80 件（17.5%）
- ・ 練習や指導についていけるのか：51 件（11.1%）
- ・ 指導者・コーチとの関係性構築：48 件（10.5%）
- ・ 大会でよい成績等を獲得できるか：47 件（10.3%）
- ・ 勉強との両立が難しくなる：38 件（8.3%）

取組の成果（一部抜粋）

3. KPI 2 団体・事業者等の満足度分析

（1）ポータル総合満足度（KPI 対象）

回答者区分	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	平均
団体代表者 (N=45)	6 件 (13.3%)	15 件 (33.3%)	13 件 (28.9%)	3 件 (6.7%)	8 件 (17.8%)	3.18
指導者 (N=153)	22 件 (14.4%)	32 件 (20.9%)	69 件 (45.1%)	15 件 (9.8%)	15 件 (9.8%)	3.20
団体合計 (N=198)	28 件 (14.1%)	47 件 (23.7%)	82 件 (41.4%)	18 件 (9.1%)	23 件 (11.6%)	3.20

2.実証内容と成果⑪

アンケート結果・参加者/関係者の声

取組の成果（一部抜粋）

（２）活動運営の評価（団体代表者）

評価項目	肯定的	中立	否定的	平均
活動の安全実施	39 件 (86.7%)	4 件 (8.9%)	2 件 (4.4%)	4.29
予定活動内容の提供	26 件 (57.8%)	8 件 (17.8%)	11 件 (24.4%)	3.47
団体登録の流れのスムーズさ	19 件 (42.2%)	15 件 (33.3%)	11 件 (24.4%)	3.13
参加者募集～当日の流れ	19 件 (42.2%)	11 件 (24.4%)	15 件 (33.3%)	3.00
中学校施設の使いやすさ	24 件 (61.5%)	6 件 (15.4%)	9 件 (23.1%)	3.49
ポータルの管理しやすさ	11 件 (24.4%)	10 件 (22.2%)	24 件 (53.3%)	2.49

アンケート結果・参加者/関係者の声

取組の成果（一部抜粋） 5. 総括

令和7年度なごや土日クラブアンケートの結果を以下のとおり総括します。

指標	目標値	実績値	評価・所見
KPI 1 中学生・保護者 ポータル満足度	3.0	3.78	目標達成。中学生 3.96・保護者 3.67、いずれも目標水準をクリア。
KPI 2 団体ポータル満足度	3.0	3.20	目標達成（3.20）。代表者 3.18・指導者 3.20。引き続き管理機能改善が課題。
中学生 活動満足度	参考値	4.43	高い満足度。安全配慮（4.45）・挑戦機会（4.31）が特に好評。
保護者 活動満足度	参考値	4.26	来年度継続希望 67.7%。距離・費用面の課題も一部顕在化。
来年度参加継続意向 （中学生）	参考値	79.4% （131 件）	高い継続意向。3 年生（1.2%）の取り込みが次年度の課題。
団体の来年度継続意向	参考値	84%	活動意欲は高く、ポータル改善が課題解決の鍵。

アンケート結果・参加者/関係者の声

取組の成果（一部抜粋）

令和7年度の総合評価として、活動プログラム自体への満足度は中学生・保護者・団体のいずれからも高く、KPI1（中学生・保護者合計 3.78）・KPI2（団体 3.20）はともに目標値 3.0 を達成しました。一方、ポータル管理機能改善への要望は依然として多く、継続した改善が必要と考えられます。次年度に向けて、参加機会の拡大と共に、ポータルシステムの改善が求められます。

2.実証内容と成果⑭

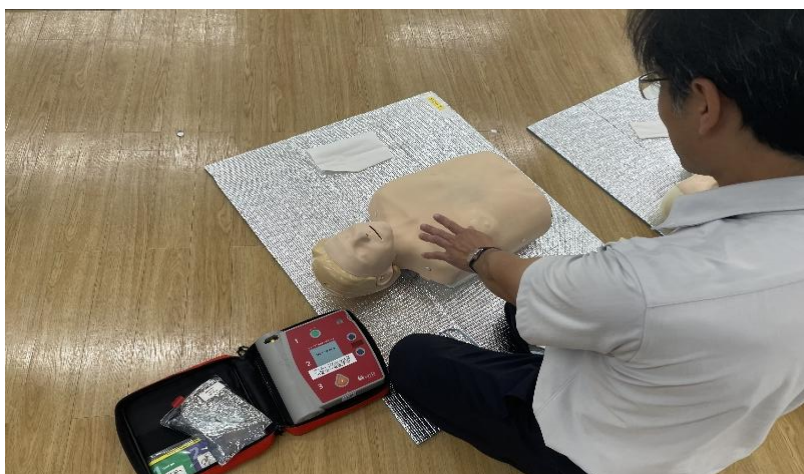
参考資料



【 AED取扱方法研修】



【中学校施設管理者が常備しているAED+マニュアルセット】



【 AED取扱方法研修】



【中学校施設管理者が常備しているAED+マニュアルセット】

2.実証内容と成果

地域クラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス



●ステークホルダー

教育委員会、学校、
団体（実施主体）、市内文化・芸術事業者、業務委託先

●経過、実施内容

令和5年度に本市の中学校部活動のあり方の見直し方針を決定。

令和6年10月～令和7年2月の土・日曜日に、市立中学校4校を会場とし、市内中学校在籍生徒全員を対象に、全16クラブ（スポーツ）をモデル開催。市内在住の中学生であれば、自校開催活動だけでなく、全活動に参加できるようにした。

令和7年10月より土・日曜日の部活動（大会参加等を除く）は実施せず、地域の団体・事業者等による地域クラブ活動を全面実施した。

●実施にあたって生じた課題

- ・活動毎に参加率が大きく異なる（ニーズとの乖離、情報共有不足）
- ・施設使用料支払及び還付（銀行窓口のみでの支払、業務煩雑）
- ・中学校駐車場の使用範囲（対象者、時間、台数）
- ・参加費補助金業務（書類不備多数、業務煩雑）等

●実施内容、工夫した点 等

本事業開始にあたり、各方面に丁寧な説明をするとともに、様々な媒体において広報啓発を行った。

参加者及び団体（実施主体）の声をよく聴きながら、本事業を一元管理している「なごや土日クラブ活動ポータル」の改善、学校施設貸出備品・消耗品の追加等も随時行っているところである。

また、本事業では非常に多くのデータを扱うことから、①事業者事務局との情報共有には、Microsoft teams、Googleドライブ、Googleスプレッドシート、②学校との情報共有には、ファイルポスト、③保護者からの補助金申請に係る情報共有には、LoGoフォームを使用する等の工夫をすると共に、個人情報の取り扱いには最善の注意を払っている。

●今後の展開

まだまだ改善点は多いため、一つ一つの声をよく聴きながら、スピード感を大切に、より生徒へ有益な活動を提供できるよう、改善を重ねていきたい。

特に、継続的な広報啓発、なごや土日クラブ活動ポータルの改善を優先して進める。

3.今後の方向性

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

	2023年度 (R5年度)	2024年度 (R6年度)	2025年度 (R7年度)	2026年度 (R8年度)	目指す姿
市	名古屋市立中学校における部活動のあり方懇談会の設置及び会議の実施（年5回）	団体・企業等への参入意向調査	専用ウェブサイト構築	専用ウェブサイトの運営（7月開設予定）	○地域の多様なスポーツ・文化芸術活動を市内在住の中学生へ提供する。 ○地域の様々な団体の自己運営によるクラブ活動を実施し、地域の子どもを地域で育てる。 ○教員の働き方改革を推進する。
	アンケート調査（生徒・保護者・地域の指導者）	市内4校でモデル事業実施	各種制度設計		
	ヒアリング実施（団体、事業者等）	各種制度設計 ・人材バンクの活用検討（県） ・団体登録制度 ・施設利用の設計 ・困窮世帯への減免の設計 ・専用ウェブサイトの設計 ・兼職兼業制度の設計	新たな学校開放制度に基づく学校施設開放開始		
	各区1回、計16回のモデル事業実施		課題の抽出・対応		
学校	部活動（平日・休日）		学校開放に向けた環境整備	部活動（平日・休日は大会参加のみ）	
参加者			教職員の兼職兼業の申請	参加申込（9月開始予定） 市立中学生の減免申請	
地域クラブ団体			団体登録（4月開始予定） ※会費徴収により、自己運営	研修受講	
			施設予約（8月開始予定）		

休日の地域移行完了